

『環境月間』講演会

大阪大学環境安全研究管理センター

日時

平成30年6月5日（火） 13時～14時30分

場所

工学部共通講義棟 U3-211 教室

講師および講演題目

題目「環境化学・環境計測の最前線

-環境モニタリング用化学センサ・バイオチップの開発-

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

産総研・阪大 先端フォトンクス・バイオセンシング

オープンイノベーションラボラトリ 副ラボ長

脇田 慎一 先生

内容

ナノバイオテクノロジーと生物工学を利用した電界効果（FET）型バイオセンサやマイクロ流体デバイス（Lab-on-a-Chip）の研究開発を行い、環境ストレス計測評価を現場で利用できるプロトタイプを開発し、実証研究を行っています。

地域環境問題である水質汚濁物質モニタリングブイシステム、地球環境問題である酸性雨一滴成分モニタリングセンサ、生活環境問題であるダイオキシン類モニタリング用バイオチップ、さらに、新しい人間環境問題であるヒトの生体ストレス指標物質計測用バイオチップの研究開発に関して、分かりやすく紹介します。

大阪大学内外の方々、多数ご来聴下さいますようお願い申し上げます

問い合わせ先：大阪大学環境安全研究管理センター

Tel：06-6879-8974 E-mail：hozen@epc.osaka-u.ac.jp